

受験番号

学校教育領域

令和6年度

筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 (10月実施)

## 社会人特別選抜 小論文

(10:00~12:00)

### 解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 小論文の問題用紙の枚数は〔スクールリーダーシップ開発分野〕が1枚,〔芸術科教育分野〕が1枚です。
4. 〔スクールリーダーシップ開発分野〕〔芸術科教育分野〕のいずれかの分野を選択して解答してください。
5. 志望する分野及び解答する問題の番号を答案用紙の最初に記入してください(例: スクールリーダーシップ開発分野 問題1)。
6. 使用する答案用紙の枚数は、各問いの指示に従ってください。指示がない場合は、使用する枚数は任意とします。答案用紙のホチキスは外さないでください。
7. 日本語で解答してください。

【 令和6年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

小論文 (スクールリーダーシップ開発分野)

1枚のうち 1枚目

次の2つの問いの両方に答えなさい。答案用紙の使用枚数の指定はありませんが、解答の際は必ず問題番号を明示し、それぞれに別の答案用紙を使用してください。

問題 1.

現代公教育の重要な基本理念として教育の機会均等がある (教育基本法第四条)。他方で、近年の日本では教育機会の不平等 (educational inequality) や教育格差の拡大が問題視されることが少なくない。現存する教育機会の不平等や教育格差に関わる問題状況について具体的な例を挙げて説明し、それらの解決のために必要な手立て・方策について論じなさい。

問題 2.

近年、日本の教育政策において「持続可能な社会 (sustainable society) の創り手の育成」や「日本社会に根差したウェルビーイング (well-being) の向上」の考え方が重視されている。それらのコンセプトの背景と意義について、教育課題の具体例をもとに論じなさい。

【 令和6年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

小論文（芸術科教育分野）

1枚のうち 1枚目

次の2つの問いの両方に答えなさい。解答の際は必ず問題番号を明示し、それぞれに別の答案用紙を使用してください。

問題 1.

美術教育におけるアクティブ・ラーニングを工夫するうえで重要となる観点を2つ挙げ、それらを生かした具体的な実践例を示しながら、あなたの考えを答案用紙1枚以内で述べなさい。

問題 2.

美術教育において学習者の個性を生かした学びを促すためにどのような方策が考えられ、また、その方策にはどのような難しさがあるのかについて、具体的な実践例を挙げながら、あなたの考えを答案用紙1枚以内で述べなさい。